

障害ある子らアート楽しむ

たつの・小宅小 小中生6人が創作

2023/8/25 神戸新聞 掲載



障害がある子どもたちが楽しんだ臨床アート教室 = 小宅小学校

たつの市は、障害がある子どもたちの創作活動を支援する「障害者臨床アート教室」を8月から始めた。初回は小宅小学校（同市龍野町日飼）で小中学生6人が参加し、オイルパステルとベビーパウダーを使ったプログラムに取り組んだ。

臨床アート（臨床美術）は創作を通じて脳を活性化することを目指す活動で、普及団体が民間資格の「臨床美術士」を養成している。講師の中谷真理さん（53）＝西宮市＝は、たつの市が本部の社会福祉法人職員で、認知症予防などに取り組んでいる。

オイルパステルは、クレヨンよりも軟らかく扱いやすい。通販大手フェリシモ（神戸市）も臨床アートに注目して販売している。教室では、子どもたちが思い思いの色を紙に塗り、指でのぼしてベビーパウダーで色を定着させた。表面に触れると凹凸が感じられるのも魅力という。

中谷さんは参加者の作品を「青い空の中に模様ができていくみたい。勢いもあってすてき」と一つ一つ評価し、拍手で褒められると笑顔になる子もいた。